



2



1



4



3



6



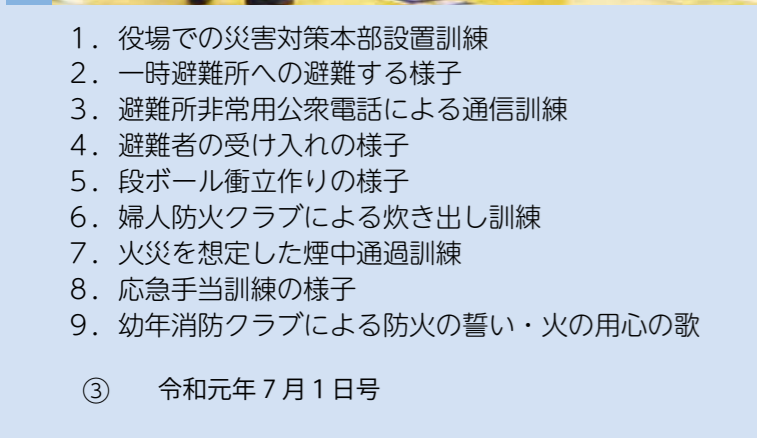
5



8



7



9

1. 役場での災害対策本部設置訓練
2. 一時避難所への避難の様子
3. 避難所非常用公衆電話による通信訓練
4. 避難者の受け入れの様子
5. 段ボール衝立作りの様子
6. 婦人防火クラブによる炊き出し訓練
7. 火災を想定した煙中通過訓練
8. 応急手当訓練の様子
9. 幼年消防クラブによる防火の誓い・火の用心の歌



# 6・12総合防災訓練

——もしもに備えて——

昭和53年6月12日に発生した「宮城県沖地震」、平成23年3月11日に発生した「東日本大震災」の災害経験を基に、今後も起こり得る災害に備えるため「宮城県民総合防災の日」に併せて「6・12総合防災訓練」が行われました。

今年度は湯原地区・干蒲地区を対象に、防災へ対する意識と災害に立ち向かう体制づくりを進めるため、地域住民や消防団、婦人防火クラブが参加し各種訓練を行いました。

当日は、地震発生を想定し、サイレンの合図で、住民の皆さんは指定された避難場所に一次避難訓練を行

い、消防団や民生委員、自治会の方々が安否確認や住民の避難誘導を行いました。湯原コミュニティセンターでは、避難所の開設訓練や避難者の受入訓練を実施し、婦人防火クラブは炊き出し訓練等を行いました。

また、煙中通過訓練や応急手当訓練に参加した方からは「前が全然見えず少しの距離がとても長く感じながら処置の流れを確認できて良かった」などの声が聞かれました。

訓練には多くの住民が参加し、災害が発生した際の行動を再確認した訓練となりました。